

「美しく生きる」とはどういうことなのか

人は歳と共に内面を充実させ、崇高な魂を得、その美しさが顔に滲み出るものだとわれてきた。しかし現実にはそうではない。むしろそのような人は稀である。では内面を充実させ「美しくなる生き方」をするにはどうすればよいのか。人間の内面を追求し、中でも特に美というものを意識している作家に聞いてみたい。逆に、人間の美を外面から追求しているデザイナーにも同じことを聞いてみたい。双方の求める美しさの中味は異なるものなのだろうか。共通した美しさの概念があるのだろうか。そこには「美しくなる生き方」、「美しく生きる」ことへのヒントがありはしないだろうか。充実した人生を送ることへのアプローチ。作家とデザイナーによる対談式講演会。

芥川賞作家 平野啓一郎

75年愛知県蒲郡市生。北九州市出身。京都大学法学部卒。99年在学中に文芸誌「新潮」に投稿した『日蝕』により第120回芥川賞を受賞。以後、数々の作品を発表し、各国で翻訳紹介されている。04年には、文化庁の「文化交流使」として一年間、パリに滞在。08年からは、三島由紀夫文学賞選考委員、東川写真審査員を務める。美術、音楽にも造詣が深く、幅広いジャンルで批評を執筆。国立西洋美術館で「非日常からの呼び声」展のキュレーションをした。09年以降、日本経済新聞の「アートレビュー」欄を担当している。14年、フランス芸術文化勲章シュヴァリエを受章。著書は小説、『葬送』『滴り落ちる時計たちの波紋』『決壊』（芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞）『ドーン』（ドゥマルゴ文学賞受賞）『かたちだけの愛』『空白を満たしなさい』、『透明な迷宮』、エッセイ・対談集に『私とは何か』『個人』から『分人』へ』『生命力』の行方～変わりゆく世界と分人主義』等がある。最新長編小説『マチネの終わりに』刊行



Photo by 瀧本幹也
Twitter: @hiranok

カリスマデザイナー 田川啓二

東京都生まれ。明治大学法学部卒業。89年(株)チリア設立。同時にインドにアトリエを構えオートクチュールピース刺繍を手掛ける。96年刺繍教室「チリアエンプロイダリースタジオ」開講。00年日本橋高島屋で初の個展「田川啓二の世界 オートクチュールピース刺繍展」開催、以後毎年各都市の百貨店を巡回し新作を発表。05年ジュエリーデザイナーとしての活動も開始。「Tilia Jewelry」(チリアジュエリー)を発表し、ジュエリー界でも多くのファンを獲得。04年より「東京国際キルトフェスティバル」07年より「テーブルウェア・フェスティバル」に参加。美しく華やかな作品は注目を集めトークショーも担当。08年ヒューストンのウェスティン・オークスホテルのボールルームでイブニングドレスのみのチャリティーファッションショーを開催。16年より文化学園大学特任教授。17年より黒柳徹子と互いに収集した美しいものを共同で公開している「SU・TE・K!」展は全国を巡回中。様々な企業とのコラボレーション、マスメディアへの出演等幅広く活躍している



2018年5月25日(金) 19:00開演 (開場は18:30)

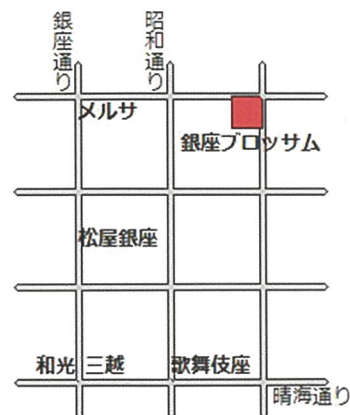
一般3500円 学生2500円 (全席指定・前売/当日各プラス400円)

銀座ブロッサム 東京都中央区銀座2丁目15番6号

オフィスOn 電話 03-5376-1350 ネット officeon.info

チケットぴあ 電話 0570-02-9999 ネット pia.jp/t
[Pコード:638618]

店舗販売 チケットぴあ各店、セブンイレブン、サークルK・サンクス
[販売タイトル/平野啓一郎・田川啓二対談講演]



有楽町線 新富町駅 1番出口徒歩1分
日比谷線・浅草線 東銀座駅 5番出口徒歩6分